



あなたの健康づくりを応援!!



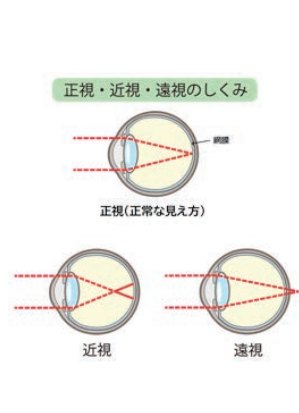
こどもの弱視

眼鏡等で矯正をしても視力が1.0に満たない状態を「弱視」と言います。こどもの視力は、生後1ヶ月は明るさが分かる程度で、その後発達していき3歳には0.6〜0.9に達します。視力の発達には、両目に適切な視覚刺激を受けとることが必要ですが、なんらかの影響によりその刺激を受けとることができず、視力の発達が止まったり遅れたりしているため、矯正しても視力が十分でない状態になります。

弱視の原因としては、斜視（眼球の位置がずれている状態）、屈折異常などがあげられます。

目の構造について少し説明します。対象を目で捉えた時に、その対象を画像として捉えるものが「網膜」と呼ばれる組織で、カメラで例えるとフィルム役割にあたります。正常な状態はこの網膜にピントが合っており、その課程で異常があるとピンボケの状態になります。屈折異常は大きく分けて「近視」「遠視」「乱視」の3種類があります。網膜よりも前でピントが合ってしまう状態を「近視」（遠くがぼやける）、また網膜よりも後ろでピントが合ってしまう状態を「遠視」と言います。

よく近視は遠くが見えづらく、遠視は近くが見えづらくと言いますが、強い遠視になると遠くも近くもぼやけてはつきり見えないことがあります。弱視の原因となる屈折異常は主に強い遠視ですが、近視や乱視でも程度が強ければ弱視を発症することもあります。



町では3歳児健診の時に家庭でおこなう視力検査と会場専用機械を用いておこなう検査（屈折検査）を合わせて目の検査として実施しています。弱視の治療開始はタイムリミットがあり、6歳頃までといわれています。前述した目の検査で要精密検査となった場合は速やかに眼科を受診し検査を受けること、また弱視と診断された場合は中断することなく継続して診察を受けましょう。またテレビやスマホ等を異常に近くで見ると、顔を傾けて見る癖がある、よくまぶしがするなど、日頃のお子さんの様子をチェックし、気になることがあればかかりつけ医に相談しましょう。こども未来課 保健師

本を読もう！ 図書室へ行こう！

○図書スペース
4月から、図書（学習）スペースを介護予防センター内に設けています。数は限られてしまいますが、今までどおり図書の貸出をおこなっています。紹介した3冊以外にも、新刊をご用意していますので、ぜひご利用ください。介護予防センターの休館日については、前月中に町公式LINEや介護予防センター前の掲示板等でお知らせします。



イン・ザ・メガチャーチ

朝井リョウ／著
〔日経BP 日本経済新聞出版〕

あるアイドルグループの運営に参画することになった、家族と離れて暮らす男。内向的で繊細な気質ゆえ積み重なる心労を癒したい大学生。仲間と楽しく舞台俳優を応援していたが、とある報道で状況が一変する女。世代も立場も異なる3つの視点から人の心を動かす”物語”の功罪を炙り出す。



成瀬は都を駆け抜ける

宮島未奈／著
〔新潮社〕

成瀬シリーズ堂々完結！高校を卒業し、晴れて京大生となった成瀬あかり。一世一代の恋に破れた同級生、達磨研究会なる謎のサークル、簿記YouTuber……。新たな仲間たちと出会った成瀬の次なる目標は”京都を極める”！一方、東京の大学へ進学した島崎みゆきのもとには成瀬から突然ある知らせが……。最高主人公に訪れる、究極のハッピーエンドを見届けよう！



ムテキなコトバ

きえときえ／著
〔文芸社〕

「いちばん上のおにいさん」になる日の、子どもの小さな心のゆれを描いた物語。昨日までは楽しみだったのに、今朝はちょっとこわい。できることが増えたのに、どうしてだか不安でたまらない。そんなときに思い出したのは、先生が教えてくれた、たったひとりの”ムテキなコトバ”。新しい一歩をふみだすすべての子どもと、そのそばに寄り添う大人に贈る、あたたかな絵本です。

○お問い合わせ 教育委員会 生涯学習係 ☎(84)1462(直通)